

令和3年度 北斗市立小・中学校 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

この調査は、文部科学省が幅広く全国の児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しています。しかし、実施教科が小学校・中学校ともに2教科のみであることや学習指導要領の全体を網羅するものではありません。したがって、調査の結果は、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要があります。この結果のみで、学校や児童生徒を評価できるものではありません。

また、北斗市教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果を例年のように中規模校、大規模校についてのみ公表いたします。

今後も、学校は、保護者、地域と一体となって学力向上や学習環境の整備に取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

北斗市教育委員会

調査の概要

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るため、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために調査を行っています。

1 調査の対象

- ・小学校第6学年の児童
- ・中学校第3学年の生徒

2 教科に関する調査

- ・小学校：国語、算数
- ・中学校：国語、数学

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようなことになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※ ①と②を一体的に問う

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

① 児童生徒に対する調査

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

② 学校に対する調査

・学校における指導方法に関する調査

小学校

1 教科に関する調査

取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

北斗市内小学校各教科の平均正答率 (%)

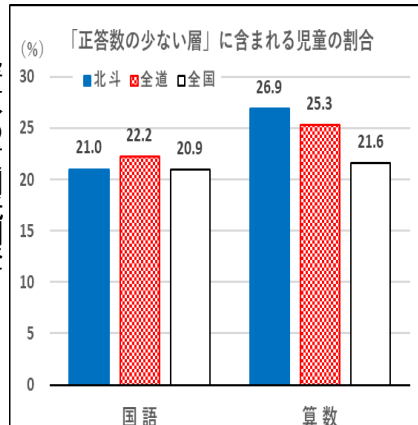
6年生 378人

	国語	算数	合計
北斗市	63	66	129
北海道	63	67	130
全国	64.7	70.2	134.9
道との差	0	-1	-1
全国との差	-1.7	-4.2	-5.9

※北斗市及び北海道の正答率は整数値で提供されています。

し、その結果として、各教科の平均正答率が全国以上になることを目指しています。正答数の少ない層の割合は、少ないほど望ましいこととなります。

今年度、小学校では、国語で0.1ポイント、算数で5.3ポイント、全国より正答数の少ない層が多くなり、北斗市が目指す目標を達成できませんでした。



2 児童への質問紙調査

① 学習や生活習慣についての質問では、平日、学校の授業以外に一日あたり一時間以上勉強している児童の割合は全国を7.2ポイント下回り、一時間以上ゲームをしている児童の割合は、11.3ポイント上回りました。日常生活時間の使い方には課題があります。

また、朝食を毎日食べている児童の割合は、78.3%で、依然として全国、全道平均を下回っています(全国85.8%、全道80.3・7%)。

② 自分には、よいところがあると思いま

○小学校では、国語で全国を下回り、全道と同じ平均正答率、算数で全国、全道の平均正答率を下回っています。

○国語では、知識及び技能で全国の平均正答率を上回りましたが、語彙(ことば)と「書くこと」「読むこと」「聞くこと」で、全国平均を下回りました。

○算数では、数と計算「図形」測定「変化と関係」「データの活用」の全てで、全国平均正答率を下回りました。

○北斗市では、必要最低限の学力を全ての子どもたちに身に付けさせるため、正答数の少ない層の底上げを重点と

中学校

北斗市内中学校各教科の平均正答率 (%)

3年生 国語403人 数学404人

	国語	数学	合計
北斗市	67	58	125
北海道	65	56	121
全国	64.6	57.2	121.8
道との差	+2	+2	+4
全国との差	+2.4	+0.8	+3.2

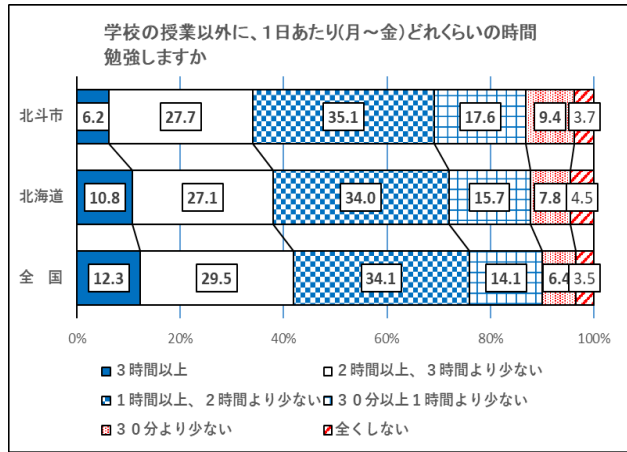
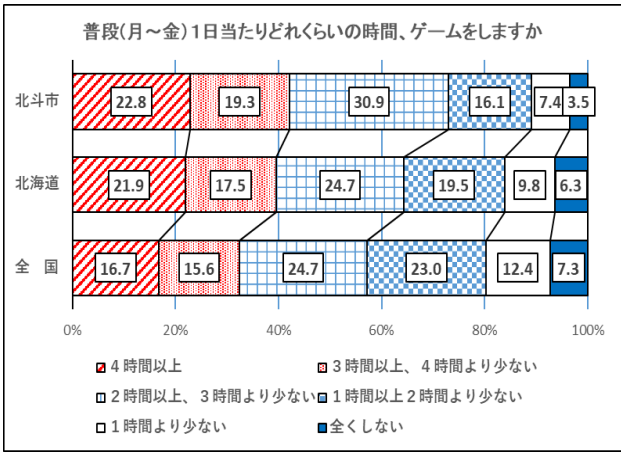
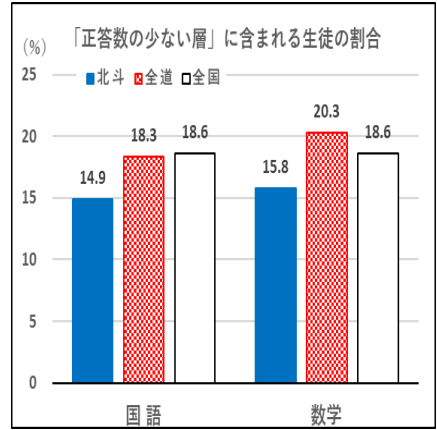
※北斗市及び北海道の正答率は整数値で提供されています。

1 教科に関する調査

○中学校では、国語・数学ともに全国全道の平均正答率を上回っています。
○国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の全てで、全国・全道の平均正答率を上回りました。
○数学では、「数と式」で、全校平均を下回り、全道平均を上回りました。図形「関数」資料の活用で、全国・全道の平均正答率を上回りました。
○中学校では、国語で3.7ポイント、数学で2.8ポイント、全国より正答数数の少ない層が少なく、北斗市が目指す目標を達成しました。

2 生徒への質問紙調査

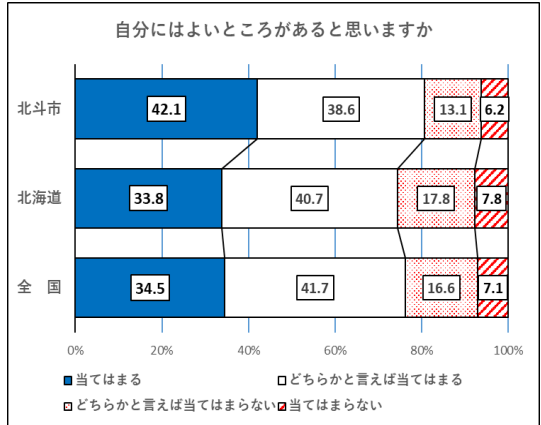
○学習や生活習慣についての質問では、平日、学校の授業以外に一日あたり一時間以上勉強している生徒の割合は全国を6.9ポイント下回り、一時間以上ゲームをしている生徒の割合は、9.1ポイント上回りました。中学生も学習時間が短く、ゲームの時間が長い傾向が見られ、日常生活時間の使い方に課題があります。
また、朝食を毎日食べている生徒の割合は、79.0%で、依然として全国・全道平均を下回っています(全国81.8%、全道80.0%)。
○自分にはよいところがあると思いませんか」という質問に、当てはまる」と回答した割合は、42.1%で、全国・全道を上回っています。
自分のよさを肯定的に認めることができるということは、中学生でも、人間



3 学力向上の取組

○小学校同様、中学校でも明らかに

○将来の夢や目標を持っていますか」という質問に、「持っている」と回答した割合は、43.8%で、全国・全道を上回っています(全国40.5%、全道40.1%)。しかし、中学生も前回調査令和元年度より6.2ポイント減少しています。
○学校に行くのは楽しいと思いませんか」という質問に、「当てはまる」と回答した割合は、39.6%で、全国を下回り、全道を上回っています(全国43.3%、全道38.5%)。これも前回調査令和元年度より2.2ポイント減少しています。



中学校3校の平均正答率 (%)

	国語	数学	合計
A	61	53	114
B	70	62	132
C	69	58	127

※各校の正答率は整数値で提供されています。

った課題を解決するため、結果を分析し、改善に取り組んでいます。

【課題解決・改善の取組】

①わかりやすい授業のために

- ・授業始めの目標の提示と、終末のまとめや振り返りを継続して行っています。
- ・一人一人がわかりやすく、見通しを持って取り組めるよう、目標や課題の設定を工夫しています。
- ・客観的な視点から授業を振り返り、わかる授業を教職員全体でつくっていくため、生徒による授業評価を行っています。

- ・わかりやすい授業づくりのため、ICTの積極的な活用に努めています。
- ・自分の考えをもつ、考えを伝えることができる生徒の育成のため、そうした場面を設定した授業づくりを教科横断的に実施しています。

・数学の図形指導で、視覚に訴えるような授業展開のため、ICTを効果的に活用しています。

- ・数学的な見方・考え方を伸ばすために、他者にわかりやすく説明したり、交流したりしています。
- ・数学科で習熟度別授業を実施しています。

②生徒の学習意欲向上のために

- ・基礎基本事項の習得のため、放課後や長期休業中のサポート学習を実施しています。
- ・学校と家庭の学習をつなげるため、家庭学習の計画をサポートする時間を毎日設定しています。
- ・生活時間を振り返る習慣を育てるため、生活リズムチェックシートを活用しています。

- ・学校行事や校外活動、外部講師による講話などを充実させ、経験の幅や価値観をひろげる活動を実施しています。

③その他の取組

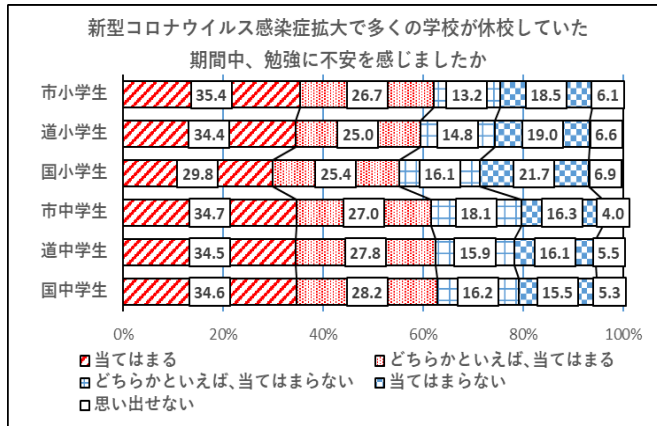
- ・基礎学力の向上のため、ほっかいどうチャレンジテストを活用しています。
- ・北斗市学力向上の日に、1・2年生一斉道徳で『学び』の意義を考える授業を実施しています。
- ・学びのスタンダード』を作成し、啓発活動をしています。

【新型コロナウイルス感染症の影響について】

○今年度のみの質問として、新型コロナウイルス感染症に関する質問が何問もありました。

○休校期間中、計画的に学習を続けることができたか」という質問に対して、当てはまる」と答えている児童生徒

徒の割合が、全国・全道を下回っています(小学校 市23.8% 全国29.8%、全道27.5% 中学校 市10.1% 全国11.3% 全道10.4%)。



○他にも、休校期間中、計画的に学習を続けることができたか、休校期間中、規則正しい生活を送っていましたか」という質問に対して、当てはまる」とどちらかといえば、当てはまる」と答えている児童生徒の割合が、全国を下回っています。

○この結果から、北斗市の子どもたちも、新型コロナウイルス感染症による休校の影響を大きく受けていたと考えられます。

【子どもたちの健全な成長のために】

○はじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えますか」という質問に対して、当てはまる」と答えている児童生徒の割合が、全国・全道を上回っています(小学校 市88.6% 全国84.1%、全道87.5% 中学校 市92.1% 全国81.4%、全道83.7%)。

○他にも、友達と協力するのは楽しい」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞く」という質問に対して、当てはまる」と答えている児童生徒の割合が、全国・全道を上回っています。

○このように、北斗市の子どもたちには、よいところがたくさんあります。しかし、お知らせしたとおり、ゲームの時間が長く、学習時間が短いといった課題に対しては、一日の過こし方、時間の使い方の見直しが必要です。

また、小学生で低かった自尊心を高めるためには、がんばった達成感に加えて、認められ、賞賛されるという経験も大切です。

北斗市の子どもたちは、新型コロナウイルス感染症によって大きな影響を受けながらも、前向きにがんばっていますので、各家庭、市民の皆さまにおかれましては、そんな子どもたちやさしく寄り添い、温かい励ましをお願いたします。